

 あさぎり

# 議会だより

創刊号

平成15年  
7月30日発行



(須恵 諏訪神社近くにて)

発行／あさぎり町議会  
編集／議会広報調査特別委員会  
〒868-0422  
熊本県球磨郡あさぎり町上北 1855 番地  
TEL(0966)47-0312・FAX(0966)47-0265  
E-mail syoki-gikai@asagiri.jp  
印刷／(株)ソーゴグラフィックス

主  
な  
内  
容

発刊にあたって	2 P
町長施政方針	3 P
一般会計予算審議	4～5 P
常任委員・議会の構成	8～11 P
一般質問	12～19 P
傍聴席からひとこと	20 P
町民の声	21 P
編集後記	22 P

定例議会

あさぎり町になっての第一回定例会は、6月10日から25日までの16日間の日程で開催されました。

初日は、町長の施政方針の演説があり、その後一般質問で5人が登壇、二日目と三日目も一般質問があり計16人が登壇して、執行部の考えを質しました。

上程された議案は、工事請負変更契約の締結案件1件、条例の制定案件4件、条例の改正案件8件、立木処分案件2件、平成15年度一般会計・特別会計予算案件9件、助役・収入役の選任など人事同意案件10件、計34件で細部にわたって審議し、人事案件の2件の不同意があり、あとは原案どおり可決・同意されました。また陳情1件の提出があり継続審査となりました。

発刊によせて



あさぎり町長  
犬童 卓一郎

あさぎり町議会だより創刊号の発行を心からお慶び申し上げます。  
私達の町「あさぎり町」は、さきに策定されました基本構想における新しいまちづくりの目標「若いまち、豊かなまち、夢ふくらむまち」を将来像として位置づけ、若者定住を目指すとともに、精神的にも若く豊かで誰でも住みたいと思えるようなまちづくりを実行していきたいと考えています。  
町民の皆様すべてが幸せを実感できる町を創造するため、誠意と情熱を込めて町政に取り組む覚悟でありますので、議

会をはじめ町民の皆様方のご指導、ご協力をよろしくお願い致します。  
さて、議員の皆様方によって発行されます「議会だより」の役割は、町議会の動きを町民の皆様にお知らせする事によって、議会に対する理解と町政に対する関心を深めるとともに、町政を町民の皆様と共に考えていく媒体にすることにあると思いますので「議会だより」発行の一層の進展をお祈り申し上げます。  
暑さも日ごとに厳しさを増してまいりますので、皆様方のご健康を祈りまして挨拶とさせていただきます。

議会だより  
発刊にあたり



あさぎり町議会議長  
上村 岩利

新しい町「あさぎり町」が誕生し、初代議長に推挙いただき、この上もない身に余る光栄に存じております。と同時にその責任の重大さを痛感しております。  
あさぎり町議会は、合併して五十四名の議員となりましたが、議員相互の融和を図り、研鑽を重ねて、地域住民のニーズに耳を傾け、町政に反映させていきたいと思っております。  
議会としましては、より豊かな明るい住みよい町づくりのため、また将来、子どもたちが安心して生活出来る町、そして町の中心部だけが発展して、周辺の地

域が取り残されることの無いような知恵を絞り込み、新町建設計画に基づき地域間のバランスのとれた町づくりに、努めていきたいと思っております。  
今回、「あさぎり議会だより」の創刊号を発刊することになりました。今後、議会の審議内容を町民のみなさんにわかりやすく、伝えていきたいと思っておりますので、活用いただければと思います。

# 均衡あるあさぎり町の 発展に向けて

## 町長施政方針（抜粋）

国の財政は、税収が落ち込み益々厳しさが増していくものと考えられます。

本町としましては、このように、国の財政も厳しく、一方、町税の増収は長引く景気の低迷により望めない状況にあります。自主財源の確保に全力をあげると共に、経常収支比率、公債費比率等の将来の推移を見越し、コスト意識を持って、健全財政の確立を目指すとともに、交付税算定措置及び合併特例債の有効活用により、新町建設計画のつとより、旧5か町村が均等に発展することを大切にしながら、各種政策を展開していかねばならないと考えております。

特に本年度から取り組む重点施策として、

① 高齢化対策として、日本一暮らしやすい町をつくるため、自立型デイサービスは行っていますが、参加者が限られており、地域単位で公民館等を利用しての「ふれあいいきいきサロン」の開設、ヘルパーの資格者を増やしていくために、町が主催となって講習会を開催したり、民間や

他の団体が開催する講習会に参加する場合、参加料の一部を助成、各支所や上・岡原の温泉センターを利用しての民宿型のショートステイを検討、実施し、介護予防を推進したい。

② ゆとりを持って、地域の後継者を育てられるよう、学童保育が無い地域については学童保育を開設し、運営については必要な助成を考え、さらに子育て支援センターを開設したい。

③ 地産地消で食の安全安心を守り、観光農業を推進し、都市との交流を深めるために、農産物等を「みずみずしい」あさぎりブランドとして商標登録等しながら確立し、都市圏の消費者と直接交流会を開催し、消費者が何を望んでいるのか、どのような農業体験ツアーに参加したいのか、アンテナショップの開設は可能か等を調査したいと思っており、また、旧上村出身の養茂東京農大教授の指導を頂きながらグリーンツーリズムを積極的に推進したい。

④ 基幹産業の農業を足腰の強い、競争に負けない、魅力あふれるものとするために、共同化・協業化、さらに法人化を目指すために生産組織の育成が必要であり、積極的に活動をする生産組織に運営費を助成したい。

⑤ 免田駅を中心とした地域に、暮らしの中心としての機能が揃い、祭り・イベント・市などがあり、さまざまな情報発信が行われる、街なか賑わいがある中心市街地を再編成するために、中心市街地活性化基本計画、いわゆるTMO構想を実現化するため、商工会と協力し、中心市街地活性化推進委員会を設置したい。

⑥ 町を支える人材を育成するために、農・林・商・工業者の技術力向上、情報の収集等のため研修すると共に、花嫁対策のために結婚対策委員会を設置し、また、自発的発想に基づく職員の研修を支援したい。

⑦ あさぎり町内どこに

くにも15分以内構想を実現するために、あさぎり町内道路網整備計画を早急に樹立したい。

⑧ 福祉乗合タクシーを全町すみずみまで走らせるための計画を推進していく。

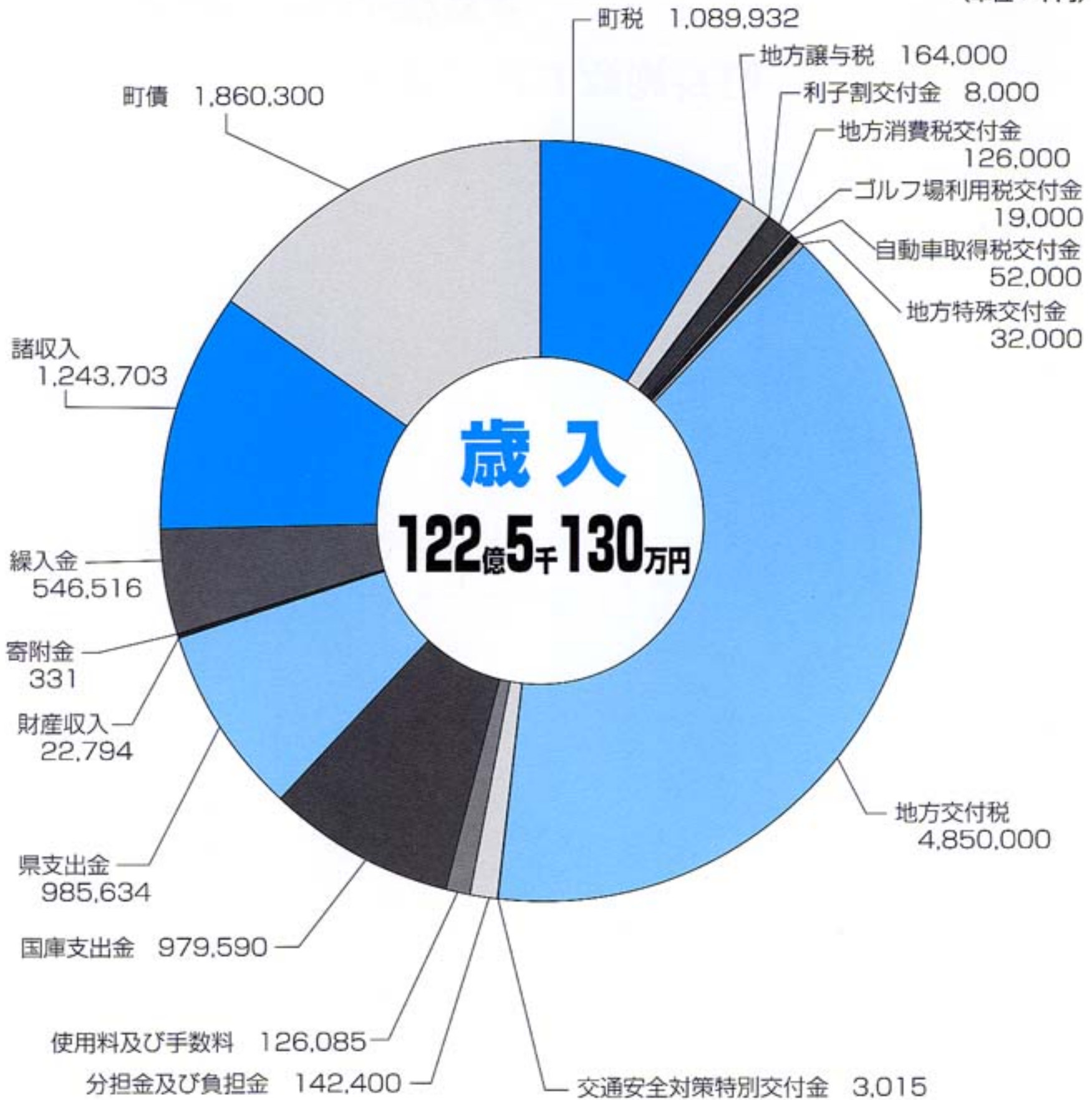
⑨ スポーツを活性化し、健康づくりに努めるために、旧五か町村の融和を促進するうえでも、各種スポーツ、ビーチボールバレー、ソフトボール等の大会をできるだけあさぎり町全体として取り組み、公認記録が認定される競技場（全天候型）の必要性を感じており、その調査を行いたい。

⑩ あさぎり放送局を開設し、生の情報を家庭に伝えるためのケーブルテレビを設置したいので、そのための情報収集を行いたい。

また、今後の大きな課題の中学校の統合問題については、新教育委員会・議会・PTA等と様々な情報交換をしながらじっくりと取り組みたいと思っている。

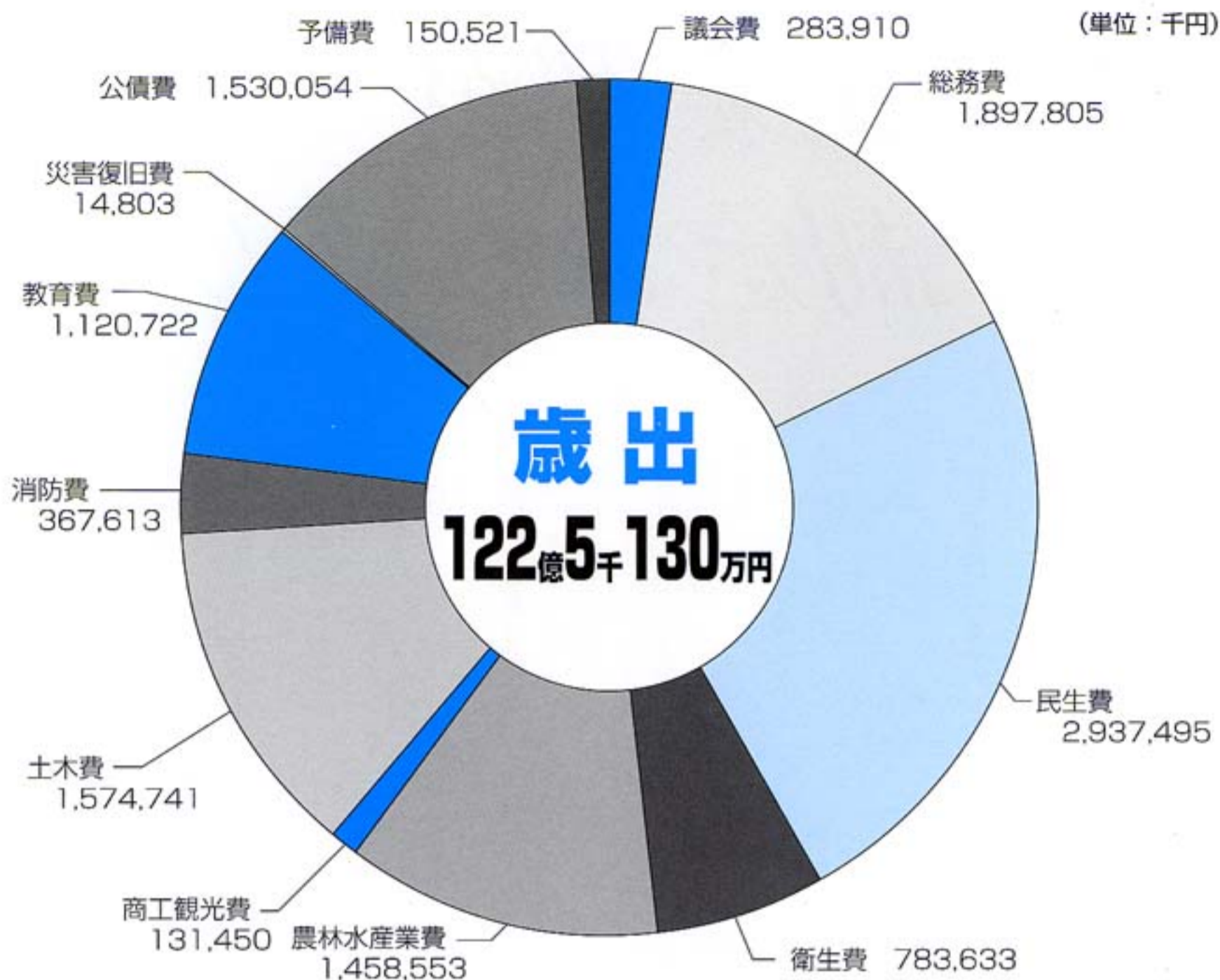
# 平成15年度一般会計予算

(単位：千円)



## 平成15年度 特別会計 予算

国民健康保険	19億1,960万円
老人保健医療	21億2,140万円
介護保険	15億2,370万円
簡易水道事業	4億6,020万円
水道事業	7,803万円
下水道事業	12億5,340万円
土地取得	1億9,260万円
上財産区	3億8,430万円



## 知りたい予算

議員報酬	1億6,215万6千円	ふるさと振興社助成金	1,192万円
議長交際費	100万円	道路新設改良費 工事請負費	5億9,988万3千円
町長交際費	350万円	住宅建設費 工事請負費	1億1,450万円
夏祭り補助金	1,590万円	上球磨消防組合負担金	2億3,811万2千円
地方バス運行等特別対策補助金	1,831万3千円	小学校 図書購入費	232万円
あさぎり町老人クラブ補助金	763万円	修学旅行旅費補助	113万4千円
敬老年金 (70歳～89歳6千円・90歳以上1万円)	1,514万2千円	中学校 図書購入費	225万円
敬老祝金(100歳 10万円)	20万円	修学旅行旅費補助	768万1千円
チャイルドシート購入助成金(1件 2万円)	120万円	あさぎり町婦人会補助金	383万2千円
出生祝金(1人5万円)	825万円	青年団補助金	139万5千円
乳幼児医療費助成金	4,002万7千円	P T A補助金	123万5千円
鍼灸治療費扶助費(1枚500円・月1人5枚)	328万7千円	文化協会補助金	230万円
たばこ共乾施設整備事業補助金	2,992万4千円	子供会育成連絡協議会補助金	140万円
あさぎり町商工会補助金	2,850万円	高山グラウンドトラック改修測量委託料	224万7千円

# こんな条例が 制定されました

## 定住促進条例

この条例は、あさぎり町への定住促進を図り活力ある地域づくりを進めることにより、町勢の発展と住民福祉の向上に寄与することを目的として制定されました。

次の三事業に該当すれば奨励金等が交付されます。

### ① 雇用促進奨励事業

平成15年4月1日以降に、町内に居住する59歳未満の求職者を継続して正規の従業員として新たに雇用する事業所に奨励金を交付する事業。  
・奨励金は対象雇用者一人につき 10万円（ただし、一事業所あたり50万円を限度とする。）

### ② 住宅建設推進事業

平成15年4月1日以降に町内に住宅を新築した者で、申請者本人が対象となる住宅に居住し、1年以内に親族と同居するものに奨

励金を交付する事業。

・奨励金1戸当たり  
20万円

### ③ 結婚祝い事業

平成15年4月1日以降に本町において入籍した者で、入籍後、2年以上本町に居住したものに祝い金を交付する事業。

・祝い金1組につき  
5万円

※ この定住促進事業の執行に当たり、その適正を期するため審査会を設置して、奨励金等を受けようとする者の資格及び実施しようとする事業の適否の審査をします。

## 結婚対策委員会設置条例

あさぎり町内に居住する未婚者の結婚を促進するため、対象者の把握を行いながら、これまで取り組まれた様々な結婚対策事業に検討を加え、さらに実のある展開をするため、町内の様々な分野の方々をもって構成される結婚対策委員会を設置し、意見を聞きながら結婚対策を進めていく条

例です。

委員は10人以内で、区長、農商工団体に属する方、青年・女性を構成員とする組織に属する方、社会福祉に關係する方、消防団員、学識経験を有する方で組織して、年6回位会議を開催し結婚を促進していくこととなっております。

## 標準小作料協議会条例

農業委員会が農地法第23条の規定による小作料の額の標準となるべき額を定めるに必要な事項について調査し、適正な標準小作料を算定して農業委員会に意見を述べ答申することを目的として、あさぎり町農業委員会に標準小作料協議会を15人以内の人員構成で設置するよう制定されました。

## 手数料条例の一部を改正する条例

住民基本台帳ネットワークシステムの二次サービスが稼働します。これに伴い、住民票広域交付と住民基本台帳カード交付の手数料が新たに加わりました。

- ・住民票広域交付  
1通 300円
- ・住民基本台帳カード交付  
1枚 500円

# 人事

## あさぎり町の新しい役職に 次の方々が選任同意されました

(敬称略)

### 助役

竹下 喜造

昭和二六年三月二六日生  
菊池郡合志町豊岡二〇五四  
・五四  
前熊本県土木部審議員



### 教育委員

藤島 絃陽

昭和十九年七月十一日生  
あさぎり町免田西三二五八



### 教育委員

白濱 保

昭和十年八月七日生  
あさぎり町須恵一六〇・一



### 教育委員

太田 哲郎

昭和十一年十月二二日生  
あさぎり町上北三三六・五



### 教育委員

荒川 愛二

昭和五年九月二二日生  
あさぎり町岡原北二六



### 監査委員

松下 祐司

昭和二八年九月十六日生  
あさぎり町免田東一八二〇  
・二三



### 監査委員

坂本 強

昭和二十年四月八日生  
あさぎり町深田西二七〇七



## 固定資産評価審査委員会委員

・石山 孝男

昭和八年三月十四日  
生

あさぎり町上南  
一四七六・一

・尾鷹 正嗣

昭和十六年一月四日  
生

あさぎり町免田東  
一八四〇・一〇

・畑崎 逸雄

昭和九年八月二十日  
生

あさぎり町岡原南  
一八二八・一

・田山 憲文

昭和二三年九月一日  
生

あさぎり町須恵九

・荒川 卓之

昭和十年九月十一日  
生

あさぎり町深田東  
一八七五・一



委員  
豊永 隆一



委員  
岩本 幸男



副委員長  
田原 茂久



委員長  
深松 実男



委員  
宮原 盛幸



委員  
浦本 秀正



委員  
田原 健一



委員  
永村 修一



委員  
桑原 国昭



委員  
上村 岩利



委員  
西 正一郎



委員  
福田 末且

総務課、企画財政課、  
税務課が所管

本委員会は委員12名、執行部より総務課長、企画財政課長、会計課長の出席により平成15年6月17、18日あさぎり町議会議事堂「2階会議室」にて開いた。

その主な内容

陳情第一号 皆越地区並びにあさぎり町全体の活性化を促進するため、部会の早急な取り組みに向けた基本計画の実施に関する陳情書。

議案第二号 あさぎり町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について。

議案第十四号 平成15年度あさぎり町一般会計予算について(総務常任委員会所管分)

議案第二十一号 平成15年度あさぎり町土地取得特別会計予算について

以上を質疑、審議した結

果陳情第一号は継続審議に、議案第二号、第十四号、第二十一号は原案どおり可決した。

審議内容の主たるものは  
区運営助成金は均等割2万円、戸数割250円。消防施設費1590万円、消防施設費は防火水槽3基分。県民文化祭に負担金423万8千円と派遣職員2人分の人件費167万7千円を計上(以上一般会計予算分)

土地取得特別会計については、土地取得は基金管理を行うより、特別会計を持った方が公明制を示すため望ましい。なお土地1件7百万円以上、または、5千平方メートル以上は議会の議決が必要。また本委員会は「支所機能等の調査の件」を閉会中の継続調査とすることに決めた。





委員  
空戸 正幸



委員  
橋本 猛



副委員長  
北川 嘉郎



委員長  
松本 義高



委員  
中村 久男



委員  
永井 梓



委員  
森山 建一



委員  
中村 甚介



委員  
桑原 武夫



委員  
池田 賢



委員  
五嶋 政一



委員  
橋本 正照



委員  
淵田 勝祐

教育総務課

庶務係、学事係、給食係りを置いている。ALTは上村、免田、岡原、須恵、深田にそれぞれ1名ずつ招致していたが7月以降は4人でローテーションで対応。生徒1人当たりの図書数は、免田小学校17冊、岡原小学校36冊、7冊、須恵小学校64冊、7冊、深田小学校39冊、5冊。小学校平均で32冊。上中39冊、7冊、免田中48冊、3冊、岡原中79冊、深田中72冊、3冊で須恵中はわからない。

修学旅行補助金は1人当たり小学校で約5千円、中学校で3万円。

生涯学習課

生涯学習係、文化振興係を置いている。せきれい館、須恵文化ホール等を運営。文化ホールは1年間の入場者数が2万4千人。行事を行えば行いほど赤字がでるので経費の節約をする。公民館分館は53で分館長は旧行政区の区長さんが多い。

体育振興課

体育振興係で体育指導員は50名。体育協会補助金2132万円のうちユニホーム代は7百万円。

森園カントリーパークについては、ジョギングロードの舗装、夜間照明の電柱建設、駐車場の整備。地質調査は山の崩れている所3カ所にボーリングして対策を練る。工事費は3年計画で平成14年1億5千万円、15年1億5千万円、16年6千万円で総額3億6千万円。他に別事業で6千6百万円の東屋。ジョギングロードを備えたサッカー場と、憩いの場としての東屋が主たる施設。

体育施設の管理は上総合運動公園2人、岡原総合運動公園1人、深田高山総合運動公園4人で管理。免田総合体育センターは九州総合サービス。球磨川マラソン大会は町助成金3百万円、参加料346万円、繰越金等の総額683万3千円で行う。



委員  
皆越 九八郎



委員  
今田 安治



副委員長  
溝口 峰男



委員長  
深水 洋一郎



委員  
上原 龍一



委員  
城本 勝行



委員  
金盛 直記



委員  
尾曲 幸晴



委員  
池田 是男



委員  
吉松 一郎



委員  
西 昭一



委員  
白石 昭人



委員  
平田 助弘



委員  
恒松 健男

**福祉課**

あさぎり町精神障害者居宅生活支援事業審査会条例  
平成15年4月から社会福祉基礎構造改革の一環として、利用者自らサービスを選択できる制度として審査会の構成を庁内6名、庁外4名の、10名でスタート予定。

**町民課**

今年8月25日から第二次の住基ネットサービスが稼働するが、本庁でこの機械を購入すると大変高価になるので委託契約となる。

**救護施設課**

救護施設事業で賄材料費とは、新鮮で衛生的な物資を市価より定額で良心をもって納入する業者を選定し1年契約で実施する。

**高齢総合課**

高齢化の世相にあり、ホームヘルパー養成事業が計上され3級のヘルパー養成費で今年度は10月2日に開講式があり、11月から12月にかけて実技の講習が予定されている。

介護保険特別会計において高額介護サービス費が計上され、課税者および非課税者が、それぞれ一定額を越えたとその分に対して支払いが受けられる。

**健康増進課**

集団検診結果などは、個人情報などのプライバシーに関わるので、その保護には充分気をつける。また、年齢制限は設けていないが総合検診は30歳以上を対象にしている。

**環境保全課**

高度成長に伴い一般廃棄物が大量に排出されている現状で廃棄物減量等推進員を、各行政区から1名選出し活動してもらおう。



委員  
坂本 強



委員  
濱田 敬一



委員  
久保田 久男



副委員長  
五嶋 久吾



委員長  
尾方 球三郎



委員  
岩村 勇次



委員  
岩水 国昭



委員  
櫻山 保



委員  
松本 光弘



委員  
山下 美武



委員  
恒松 博光



委員  
竹野 保良



委員  
鶴田 和典



委員  
四角目 三郎



委員  
中村 嘉夫

**商工観光課**

あさぎり町結婚対策委員会  
条例  
これまでの結婚対策事業に検討を加え委員会の構成メンバー10名でスタートして、委員のアイデアが繁栄されるように期待したい。

**あさぎり町定住促進条例**

本条例は、雇用促進奨励、住宅建設促進、結婚祝い事業を包含したもので、企業に雇用を促し、住宅建設には地元産材の使用を促し、あさぎり町で入籍2年以上の居住に祝い金を交付するもので、前述の結婚対策と同時に少子化問題に対する好施策として期待される。

**建設課**

平成15年度は、あさぎり町の単独事業、交付金事業を合わせて13の道路や橋梁事業と、概略設計の5つの事業が計画されており、住宅の改築も実施される。

**農業委員会**

あさぎり町標準小作料協議

**会条例**

地方自治法に基づき付属機関として設置し、15名以内の組織としたい。

**林業振興課**

岡原地区と上財産区の立木処分が間伐形式で計画され70ヘクタールに及ぶ。また、林道新設や、舗装工事もある。

**農業振興課**

町長の施政方針十カ条にも掲げてあり、農業改革に期待される。みずみずしいあさぎりブランドの確立には興味を持たれる。

**水道課**

深田中央地区の簡易水道事業が計画されており、水質検査の強化意見も出された。

**下水道課**

下水道事業の進捗率は55%程度の面積比で今後の計画に期待される。

◎均衡ある発展の取組みについて

道路整備で15分構想などを整備



池田 是男 議員

い。夏祭りは、期間が集中している。夏祭りは、期間が集中している。将来は一つか二つに集約していく形を考えている。

**問** 町づくりで「あさぎり町の均衡ある発展」のためどのような取り組みをするのか。

各地区の箱物の活用や、体育祭・祭り・文化祭など、各地区で充実していくことも均衡ある発展につながるのではないか。また、地域審議会の審議内容を町づくりにどのよう

**町長** 今回上程している予算は、均衡ある発展を盛り込んだ予算である。道路整備では、15分以内構想をかけた、例えば須恵から上地区でも15分で行けるような整備をして、旧村に残った施設を有効に活用していきたい。

新町建設計画構想で各ゾーンの企画があるが、これらを均衡ある形でもっていき

**企画財政課長** 本年度の夏祭りについては、14年度並みの補助金額を計上している。

**体育振興課長** 体育祭については、町体育協会の中に旧町村ごとに支部協会が設立できたので、各支部ごとに開催していくように計画している。

**生涯学習課長** 文化祭については、92団体で文化協会が設立できたので、各地区、各校区ごとと、全体的には須恵文化ホールで計画したい。

◎子育て支援について

**問** 子育て支援で、せきれい館の児童館やふれあい福祉センターの交流センターの遊具の充実はできないか。また、旧庁舎の空きスペースを活用した子育て支援策はないか。

**町長** 子育て支援については、子育て支援センターの開設、また児童保育のない地域には児童保育も開設していく。旧町村空きスペースの活用に関しては、住民の意向を反映させプロジェクトチームをつくっていく考えである。

**町長** 子育て支援については、子育て支援センターの開設、また児童保育のない地域には児童保育も開設していく。

**旧町村空きスペースの活用** 旧町村空きスペースの活用に関しては、住民の意向を反映させプロジェクトチームをつくっていく考えである。

◎あさぎり町の今後の財政の見通しについて

合併特例債、過疎債を利用

濱田 敬一 議員



**問** 合併の時旧町村から持ちよった、224億円の多額の起債（借金）について、どうおもうか。

**町長** 借金を多く作ることは子、孫たちへ付けを多く残すという事になるので、なるだけ残したくない。合併特例債、過疎債が適用されるので、利用して、国、県からの借金返済に努力したい。

**生涯学習課長** せきれい館の児童館遊具については、今後検討していく。

**福祉課長** ふれあい福祉センターについては、利用目的が交流や会議・講習会も兼ねており、利用目的にそった形で充実していきたい。

**役、議員、教育委員などの給与報酬が上がった事と、それからの起債の対応策について考えておられるが、一部を減額して、その差額を起債に当てると、月150から180万円位浮くが、どう思うか。また、新町建設計画構想で、350億円**

**町長** 新町計画については、取捨選択をする必要がある。住民に必要な事業を、議会地域審議会等からも意見をいただき、合併特例債、過疎債を利用し、ハード面も住民に負担のかからないように、努力したい。

**問** 借金の返済は1年間にどれ位の金額を返済するのか、また、利子はどれ位か。

**企画財政課長** 1年間の返済金額は、15億3千万円で、償還利子分は2億8千4百万円になる。15年度分の借金額は18億5千8百万円。半額は財源対策のため、100パーセント交付税措置がある分の起債である。

**問** 公債費の比率と経常収支比率は何パーセントになっているか。

**企画財政課長** 合併前の旧5か町村分、地方財政状況を現在調査中である。今のところ、13年度分の数字で答えると公債費が13.1パーセント5か町村で比率平均した場合経常収支率は、86.1パーセントである。

**問** 現在あさぎり町の公債費比率は16パーセント以上に上がっていると思うが15パーセントになれば赤点減という。経常収支比率も2年前に86パーセントで、かなり危ない所にきていると思う。町長はこの起債を、上手に減らし、これ以上起債が量ならないようにお願いしたい。

◎旧町村議会まで待たれていく一般質問は

出来るだけ早い時期に答えを



浦本 秀正 議員

課長会にて諸問題点を提出してもらったが、余りにも多いため全てには目を通していません。

**問** 旧町村の過去の議会における一般質問において、議員の発言に際し、行政側から「合併してから検討する」、「合併しないとわからない」、「今後検討する」、「勉強の時間が欲しい」・・・と答弁が先送りされたものがある。

**問** 議員は旧町村においていろいろ調査研究し、一般質問をしてきた。議事録にも残っているので精査してもらいたい。

**町長** 各町村の議事録の問題点を拾い出すよう各課長に指示したが非常に大変な作業だったようだ。

**問** 私もよく目を通し、旧町村が抱えていた問題点を早く把握したいと思っている。

**町長** 答弁されず先送りされた一般質問は再質問しなければならぬのか。

**町長** 当時の状況とあさぎり町では条件が変わることもあるので再質問して欲しい。

**問** 先送りは質問者に対して

失礼なこと。一般質問に対する説明責任を常任委員会や全員協議会で、1年か半年に1回実施する考えはないか。

**町長** 嘘は言わない。出せるものは全て出すと言う姿勢が執行部に大切。説明責任は説明について回ると考える。

◎今回の合併は平成の合併のプロセスか、最終段階か

今は町を充実させたい



宮原 盛幸 議員

◎本庁主義か、支所主義か

**問** 町行政の運営のあり方として、本庁主義でいくのか、それとも支所主義でいくのか。

**町長** 今回の合併は、昭和の合併構想の中球磨5か町村の合併が実現したわけで、平成の大合併構想からすると、そのプロセスと考えることもできる。

**問** あさぎり町が最終的なのか、それとも広域合併のプロセスと考えるのか。

**町長** あさぎり町が平成の合併の途中段階かもしれないが、今は町を充実させたい。

**町長** 現在は支所を置いているが、将来は道路網を整備して本庁主義でやりたい。

◎職員の採用について

**問** 職員数をいきなり極端に減らし、採用を控えることは、将来の人事構成からしても不適当と考える。また、採用の際には、実力本位で採用して欲しい。

**町長** 急激に職員数を減らすことは、地域経済に影響を与えるので、いろんな方法を勉強させてもらうが、来年の採用は控えたい。

◎平等主義について

**問** 平等主義を施政方針で言われたが、予算の執行に当たっては、事業に対する業者の差別化を行うことはないか。選挙で反対した業者を指名から外すことはないのか。

**町長** 地場産業育成を選挙で唱えてきたので、地元優先でいきたい。賛成をしてくれなかった業者には多少考えた

◎乳幼児医療費助成受給者の事務改善について

調査して前向きに検討したい



議員 直記 金盛

**問** 全国的に少子化が進行し、総理府統計局の調査によれば、5百年後の日本列島に人間はいなくなる模様である。21世紀を担う児童の健全育成は最大の課題である。あさぎり町において、最も病気をし易い6才未満の乳幼児医療費助成の事務改善について次の3点に関してお尋ねしたい。

① 当町では最初に役場に赴き、乳幼児医療費助成申請書を貰い、1病院につき1枚を1ヶ月使用する。本人の負担分および3割を窓口にて支払い、所定の期間後に役場で申請して払い戻しを受ける。受給者の中には、煩雑な手続きに申請をあきらめている方もいるのではないか。

② 市・郡内では、人吉市、錦町、多良木町、水上村、相良村、山江村、球磨村がカード方式で、無料で受診できる。このように、受給者に便宜を図る方策をとっている町村の状況は。

③ カード方式を、あさぎり町で実施できない理由は。

**健康福祉課長** 現物支給制度を取るならば、安易な病院の利用を促進させ現行3千7百万円以上の予算がかなりアップしないかと懸念される。時間的余裕がなく申請をあきらめている人もありはしないかという質問に関しては、妊婦検診・母子手帳交付等の際に説明しているの、1回の負担額が少ない場合には例があるかもしれないが、あきらめる例は少ないと思う。

**問** 中国では夫婦で1人、ベトナムでは夫婦で2人しか子供が産めないと聞いている。日本では制限がなくても子供を作らない。大学卒業までに1千万円の費用がかかる。子育て支援は、多

少の財政問題があっても重要課題だと思いが。

**健康福祉課長** 医療費の伸びを抑制するのも課題である。役場に出向かないで済む方法については考えたいと思う。現物支給制度に関しては、実施後の県下の実態を調べ前向きに検討す

◎統合した給食センター建設は

中学校統合問題とからめ検討



議員 和典 鶴田

少の財政問題があっても重要課題だと思いが。

**健康福祉課長** 医療費の伸びを抑制するのも課題である。役場に出向かないで済む方法については考えたいと思う。現物支給制度に関しては、実施後の県下の実態を調べ前向きに検討す

**問** 旧5か町村に給食センターがあり、老朽化している施設の衛生管理面で問題はないか。

**旧上村の給食センター**が昭和42年建築で、老朽化しており改築の必要性があるとのこと、合併前に執行部から改築の計画案が示されたが、多額の財政支出が伴う箱物は、なるべく自粛するべきだと、議会に給食センター特別調査委員会を設置、半年にわたり5か町村、及び県内の給

る。

**町長** 便利になりすぎて有り難みがなくなる場合もある。ただ、近隣6か町村が実施している状況があれば、中身を調査してその結果によって考えさせていたいただきたいと思う。

食センターを調査して、老朽化してはいるが、食中毒など出さないよう最善の努力をしながら、合併後1ヶ所に統合した施設を建設した方が良くという特別調査委員会の結論であった。

以上の理由から統合した給食センターを建設する考えはないか。

**町長** 確かに給食センターは老朽化しており、どこかの時点で建替える必要性はでてくると思う。しかし、小学校はないと思うが、中学校は統合問題が浮上してくると思う。

現時点では流動的で、学校統合を含めたあさぎり町学校教育方針策定の中で、整合性のある

給食センター改築計画を作るべきだと思う。それと一番問題なのは、統合して新しい設備が導入された施設ができると、調理の人員が約半分で賄える。その対策等も模索しながら取り組まなければと考える。

**問** もし統合した施設ができて、現在の役場職員の身分は全部保障してあるわけだから、いずれかの部署に働く場所を確保してやり、自然と合理化するのが合併の究極の目的だと思う。

次に合併前の旧町村では、各種助成金が地域活性化になくはないものとして定着していたが、あさぎり町でどう対応されるか伺う。

**町長** 一部分を除いて従前の補助金の額を予算要求している。担い手事業は全額町負担、農業共済は1/2を町が負担する。家畜排泄法が来年11月施行されることに伴う堆肥助成は、上限2百万円、新規就農祝い20万円、若者定住は雇用を促すと言う立場で、企業側に助成となっている。

**農業委員会事務局長** 担い手への土地集積助成は、要望が出ており、今調査中で、今後町長等と打合せしながらお諮りしたいと考えている。

◎新町建設計画は何を根拠に

平成11年度決算を基に



松本 光弘 議員

たものが、2003年には42兆円と大きく落ち込んでいる。それに伴い、交付金特別会計の赤字が48兆円と増え、完全に機能が麻痺した状況である。

**問** 合併は、行財政改革が目的である。財政計画は新町百年の計画を読み間違えないよう計画を立てなければならぬ。

**新町建設の基礎となる財政計画では、骨格である交付金が、平成15年度から10年後の24年度まで、約65億円から67億円と伸びる計画がなされているが、その根拠は何か。**

**町長** 新町計画の基礎となったのは平成11年度の決算結果を基にしているため、現在の財政事情とはそぐわなくなっている。

**企画財政課長** 普通交付税と特別交付税で60億円程を見込んでいるが、新町建設計画とは5億円の差が出る。

**問** 今や中央も地方も、深刻な財政危機に直面し、国の税収が、1990年には約60兆円あつ

示したものである。

**問** 職員数は、人口割から示すと、ドイツでは5万人に50人、出雲市では、143人に1人、あさぎり町では、63人に1人となっている。10年間の職員採用を凍結し、採用年齢上限を27

**問** 町長の施政方針で、自主財源の確保、健全財政の確立を目指す」と述べられているが、一般会計、及び特別会計の中で平成15年3月末現在の滞納額が、総額約2億4千7百万になると聞いている。旧町村において組織されていた納税組合が廃止される関係で、滞納者も一層増えてくるのではないかと思うが、今後どのような方法で滞納整理をされるのか。また、どのように指導されていくのか伺いたい。

**町長** まじめな人がばかを見るような町であつてはいけない。そこで、各課それぞれ打合せしながら収納対策を図っていきたい。滞納者の生活状況、預金、資産等の調査を行い、分割納入してもらおう。また、悪質な滞納者に対しては、差し押さえも考えていかなければならない。

**納税組合に変わる納入方法としては口座振替を推進する。**

**税務課長** 町税の滞納額については4545万3千円、固定資産税

歳までとして、一般社会を経験、勉強した人を採用すれば理想的だと思ふが。

**町長** 行政サービスが低下しないよう、職員の年齢的なプランクが生じないよう務めながら、職員減に努力する。

6832万5千円、軽自動車税265万2千円、国保税1億123万円である。現在夜間徴収を月3回行っている。また、口座振替制度の説明、推進を考えている。

**建設課長** 住宅使用料の滞納は387万8830円。各戸徴収に二生懸命頑張る。

**福祉課長** 13年以前の保育料滞納額688万3798円。最も効率の良い方法で滞納整理にあたりたい。

**下水道課長** 分担金、及び使用料の滞納額合計で、919万6265円。地道に戸別訪問して徴収したい。

**水道課長** 水道使用料、及び給水工事負担金の滞納額は306万4650円。3ヶ月以上の滞納者については戸別の訪問通

知を行い、返答の無いところは給水停止を行っている。

**教育総務課長** 奨学金の未納額437万8千円。連帯保証人の方にも相談に上がり、チームを作って徴収にあたる。

**高齢総合課長** 介護保険未収金224万4905円。

**問** 多良木町においては、収納係を設けて対応されていると聞いているが、このような取り組みはされないのか。

また、滞納整理を専門の嘱託員を設けて実施してはどうか。

**町長** いろんな形の中でベストな方法を模索しながら進めていきたい。



◎税等の未収金の収納対策について

滞納者一掃に最善を尽くしたい

榎山 保 議員

◎あさぎりブランドの確立は？

J Aなどと連携し対応したい



永井 梓 議員

という名を商標登録するため、関係機関と連絡を取り合い、産品の候補を整理し、具体的な手続きを進めていきたい。

**問** あさぎり町の基幹産業である農業にとって、厳しい情勢の中でブランドの確立は今後の最優先課題である。町長も抱負として、みずみずしいイメージの「あさぎりブランド」の確立を考えているようだが、具体的な取組みは。

**町長** 職員の配置は、私自身身内内を把握し適正配置したい。

◎転作の進め方について

**問** 旧免田町では、転作推進助成として、10アール当り5千円が助成されていた。その助成金は集落単位に助成され、使い方としては転作の取組みには国の要件があるわけだが、最高の要件をクリアーするため、その集落での取組みの色々な経費、また転作上積として活用していたが、その助成が半減したと聞く。今後、それに対する助成金の考えは。

**町長** あさぎりの新鮮なイメージの登録商標をとり、輸入品にも食味では負けない商品で、安心・安全をモットーにJ A球磨などと連携を取り対応していきたい。また、農家の所得向上が先決で、例えば規格外のインゲン・メロンを生かしたカット商品なども考えていきたい。

商工観光課長「あさぎり」

**町長** 合併前、5か町村の課

長及び担当者を中心に調整作業を行った。助成金の額については、各町村まちまちであり、今後の国の政策及び今まで農家から要望が出ていたこと等を考慮に入れ、平成14年5か町村の助成金総額を、地区推進助成金と転作助成金に

分けて助成する。転作助成金は、10アール当り2千円であり、旧免田町からすると減額助成となるが、財政的な事情もあり今回はそのような形で予算を計上している。今後については検討課題としていきたい。

**問** 住民福祉向上のために、住民の分担納税が地方自治を支える根幹となっている。課税は法律・条例に基づいて租

の納税者の理解がないまま毎年滞納繰越が行われ、結果的には公正・均衡を阻害するの

**西 正一郎 議員**  
税公平主義を貫き、納税者の能力にに応じたものでなければならぬ。公正に課税されながら、一部

納者には対処する必要がある。 **税務課長** 長期滞納者については、生活状況・所得・資産状況等の調査を実施して対応していきたい。

過年度の一般会計決算租税収納率は良好な成績と言えぬと思うが、滞納者に対する態度が甘いためではないのか。

**問** 地方税法第15条の7、滞納処分停止の要件の定め

**町長** 現年度・過年度合計で86.9%の徴収率。納税は憲法で定められている。本来であれば国民の義務として当然払って

**税務課長** 一部の財産の差し押さえはしている。固定資産税は担保物件が先に入っている

◎公正な滞納処分について

状況等を調査し対応していく



町側の姿勢で、租税の徴収については、納税指導・相談を受け多額の滞

るので、税等の換価ができない状況である。



## ◎公認陸上競技場設置について

### 全天候型を考えている



#### 松本 義高 議員

**問** 町長は、選挙の公約を沢山挙げておられ、その中の一つに公認記録として認定される競技場の設置を挙げておられたが、全天候型かアンツーカー型か。

**町長** 全天候型を考えている。

**問** 一般会計予算に高山グランド改修測量委託料として224万7千円計上してあるが、まさか高山に予定されているのでは？

**町長** 均衡ある発展のためには高山地区をスポーツゾーンにしたほうが良いと思うが、高山へ行く道路の

用地交渉が困難なことも聞いている。今回の予算は駐車場等不足しているし、いろんなスポーツ関係の将来を考えての調査が必要のために計上している。相当大的な金額を投入する施設になるので、議会にも一緒に考えていただきたい。私としては、高山へ設置した方がよいと考えている。

**問** 周辺整備の測量ということであつたが、一流の競技場を作ると大学や実業団の合宿も考えられるし、小・中学生の大会もすべてあさぎり町のグラウンドで開かれると思う。そのようなことを考えると、国道219号線に近く、または鉄道沿線に近い、そして商店街や食堂のある所でないといふ不便である。陸協の役員も、あさぎり町には沢山いるので相談してほしい。再来年が球磨郡・市で県体が開催されるが、県体の開会式に間に合うようにできないか。業者の話では、条件が悪くても1年では完成するといふ。

**町長** いろんな調査の結果、可能で

あればぜひ間に合わせたい。

### ◎新庁舎建設について

**問** 東庁舎は入りづらくて不評である。新庁舎はどこへ、いつごろ建設の予定か。

**町長** 場所については旧免田へ建設するが、中学校統合問

題等も当然浮上するので、それらを絡めて検討する。

### ◎堆肥センター設置か、堆肥舎への助成を

#### 堆肥センター設置は検討課題としたい



#### 田原 茂久 議員

**問** あさぎり町の畜産農家は275戸あり、このうち59戸が整備済みだが、一定規模以上の畜産農家は、野積みや、素掘り堆肥については平成16年11月以降、「家畜排泄物の管理の適正化及び利用に関する法律」が定められ、違反すると50万円以下の罰金が科せられる。堆肥センターの設置はできないか。

**町長** 堆肥センターをつくるには多くの課題がある。①場所の

問題、②地域の同意が取れるか、③設置後の維持管理、④財政的な問題等である。農家ばかりに負担をかけないで行政としても堆肥センターを作る必要があるのかとも考えるが、検討課題として欲しい。

仮に設置したとしても、全排出量の10%位しか処理できないと思う。一番肝心なのは、畜産農家が3人共同や、5人共同で堆肥舎をつくらないと抜本的な対策はとれないと思う。

**問** 国が法律を作って罰則を設ける以上、補助があるのは当然のことである。町長は農業には大いに力を入れると公約されて

いますが、合併していない湯前町でさえ、38%の助成をされている。合併町村でもあるあさぎり町の補助率を40%にできないか。

**町長** 湯前町の38%助成については、それなりの理由があると思う。全国の町村を眺めたとき、湯前町の例と言うのは非常に少ない。よその大多数の市町村が行っている以上のことはするが、特殊な例の湯前町のような形はとれない。

**問** 76戸の未整備農家の意向を聴取しながら、最後の詰めを実施するための座談会を開催してもらいたいと思うが。

**町長** 座談会で説明するのも結構だが、担当の課があるので、出向いて相談に来て頂きたい。畜産農家が切実であれば、その熱意が欲しい。議員ばかりが切実視しないで、畜産農家が意識を持たないと、町で補助要綱を計画しても進んでいかない。

**問** 町有の公衆トイレの管理はどのようなになっているか。

**農業振興課長** 4月1日から暫定予算で週1回清掃している。今後は週2回実施していく。

◎CATV(ケーブルテレビ)システム導入の計画は

ケーブルテレビは大きな施策の一つである



溝口 峰男 議員

住んで良かったと言われる町ができると思うが、町長のシステム導入についての考えを伺いたい。

**町長** ケーブルテレビは大きな施策の一つとしてとらえており、国が積極的に支援してくれるのが導入する時期と考えている。

**問** 今後の計画と、従来の防災行政無線の統合計画も一方ではあるが、これをどのように進めていくのか。

**町長** ケーブルテレビについては、情報化政策の主管部局を強化、充実し、関係各課職員によるプロジェクトチームを編成し、検討していきたい。

防災行政無線も一日も早く整備しなくてはならないが、かなりの予算を双方で伴う。ケーブルテレビで無線まで含めた対応ができるかということなので、急いで調査、検討に入りたい。

**問** 旧免田町の総合体育館が東庁舎になり、町民や高校生スポーツ振興に影響がでているが、総合体育館建設計画を立てるべきではないか。

**町長** 中学校の統合や、庁舎建設等の絡みもあるので、一緒に検討していきたい。

**問** 旧上村の川南簡易水道整備事業の設計業者への補償請求が議会で決議されているが、

**問** 上球磨消防組合が発足して29年目を迎え、地域住民の生命財産を災害から守るべく、実動体制が整えられている中、社会経済の急速な発展に伴う産業活動の高度化、生活様式の変化、また、自然災害の発生等、地域における消防需要は飛躍的に増大している中、消防署も1箇所のため、水上村を初めとする他町村への出動体制は、万全なものとは言えない。

近年高齢化の進展、経済の変化に伴う交通事故の増加等により、救急出動件数は大幅に増大している中、分署の必要性を、住民、そして消防団から強い声があがっている。

上球磨消防本部を中心とした分署が、このあさぎり町に必要と考えるが、町長の考えを伺いたい。

その後の対応と、この業者を今後指名入札に参加させるのか。

**町長** 町村会の顧問弁護士と協議しているところ。指名入札の参加については、業者の対応が悪いので、不誠実な業者については考えるべきだと思う。

**町長** 現在、車社会、高齢化社会に進行する中、交通事故、そして急病と多発している状況である。救命率を高めるためにも、分署設置の必要性は当然検討課題に乗るべきだと考える。

上球磨管内では、水上村が非常に遠く、分署設置を強く要望されている。あさぎり町も1万8千人の地区人口から言っても、当然分署の欲しい場所である。しかし、分署を設置した場合の設置費用、土地購入、消防車、救急車両の購入、人件費等を総合的に考慮しなければならぬ。

問題は財政面で、4ヶ町村(上球磨消防組



◎上球磨消防組合救急出動体制及び分署設置について

財政問題があるが前向きに検討したい

桑原 武夫 議員

合)で、これらの財政的な負担ができるか検証、検討する。執行部でも検討するが、議会においても検討して欲しい。分署問題は前向きに考えたい。

**問** 管内全域が、行政サービスを公平に受けられるように配慮し、消防出動体制を充実強化させ、人命を最優先とした観点に立ち、町民の付託に答え、安全な地域社会づくりを目指すためにも、今後、執行部の積極的な取り組みを期待する。

## ◎国道219号線の交差点改良を

### 危険箇所であり他の箇所も同様調べ対処する



森山 建一議員

南地区からの取り付け交差点でもあり、車の増加と共に、休憩駐車もあり、危うい事故に遭遇された人も多

数である。農家にとっても、農地が国道を挟み南北に耕作しており、農耕車両で国道の横断をしなければならず、けん引又はアタッチメント装着しての横断は、神経も使い車輛増加の中での横断には苦渋している現況である。利用しやすい交差点に改良し、事故抑制に押しボタン式信号と横断歩道の設置はできないか。

森山 免田西に国道と旧国道の交差点で非常に危険な所がある。旧国道との分岐、工場団地のある所であり、バス停もあるが、横断歩道がない。人身事故も起きていて事故が多発している。轍もひどく住民の要望は日増しに強くなっている。状況を申すと国道への直角交差点は視野が悪い。旧国道への入り口は、斜め入りで、入りは良いが出るに危険な変則交差点、又、木上

町長 非常に危険な箇所がいくつもある中の一つである。事故で家族の1人が亡くなられた住民の話も聞いた。是非、横断歩道をと話された。横断歩道だと公安委員会、地域振興局に相談し、許可が出ればラインを引ける。信号機の設置となると内容は変わるが、車の増加、旧道との合流点、普通国道の横断とは意味合いが違う。早急に考えなければいけない問題。

又この場所は鋭角に国道に出る交差点、鋭角に出す事は今はできないはず。直角交差点改良になると思う。土地の問題や

利用しやすいとか思考する所が多い。調査しないと即答できない部分もあるが、交差点改良には時間はかからないと思う。他の箇所も同様調べて対処する。

## ◎職員数の適切な配置数について

### 状況、現状を把握し取り組む



岩村 勇次議員

町民第一に考えていくならばスムーズで短時間に用件をすませるため、事務量にあった適正な職員数を配置しながら効率化を図り無理、無駄をそぎ落とした行政の事務処理が必要と思うが、どのような方針や考えをもっているか。

町長 確かに、旧町村で検討協議し不確定要素を含みながらの職員配置だった。職員の適正配置、忙しい課、余裕のある課等があり、状況、現状を把握しながら取り組むたい。

課の職員配置は4月、7月、

10月、1月の年4回だが一番早い時期で7月にできる。

問 各支所においても、来庁者も各支所ばらつきがある。また、基幹産業の農業関係、農業振興課も、大変な部署。各課でも、均衡性を図っていただきたい。

町長 支所も来庁者の差が見えている。多いところは補充し、少ないところは、逆に減員も考えられるが、しばらく様子を見て判断したい。

農業振興課を例にあげれば、現地調査等は1人で出て行くなど、無駄を省くことで、あるいは、責任度合いを職員にもたせることで、人員配置は、随分と変えることができる。

各課の現状を自分の目で確かめて、判断したい。

# Asagiri Town

から

- 提案されたものが質疑、討論もなく採決されたのはどうかと思いました。
- 服装についてはよいと思いますが、夏場については半袖（職員・議員全員）ノーネクタイで統一されたらいかがでしょうか。
- 音響は良好に思います。
- 傍聴席と防落壁の高さが視線と同一で、大変見にくい。

## ◎議会を傍聴して



答弁する町長



後部座席が見えない

- 後部議席の議員の姿が見えない。
- 学校関係等で多人数での傍聴の場合の対応は考えておられるのでしょうか。

## ◎議会への要望・意見として

（投票採決の場合）

- 氏名を呼ばれた時、返事をする人しない人がいますが、
- 誰が投票されたか分からないので順路を定めてほしい。
- 大変不便です。庁舎を早急に建設してください。
- 議会の傍聴印象は、申し訳ないけど議員さんの勉強の格差を感じました。
- 統一された方がよいと思いますが。



執行部より見た議場

- 傍聴の第一印象は、すばらしい議場である。
- 女性の議席が必要な時期であるが、女性議員がないのはさみしい。
- 議会への要望は、議員の顔が見えないので、傍聴者に議席表を受付と同時に配布してほしい。
- 議会への意見として、町民の立場を考えた議会であってほしい。
- 老人対策としての福祉に力

# The Diet of

傍聴席



目線の高さの防護壁

を入れてくださるのは大変嬉しい。

・傍聴席から初めて傍聴しました。よく聞き取れました。音響はいいのではないのでしょうか。

・議会への要望として、議員さん全員で、普段足を運ばない遠隔地を巡回してほしい。

## ◎ENVIRONMENT

・町づくりについて、町民の皆様が町づくりに関心を持って傍聴者が増えることを望

む。

・議員さんも我田引水にならず自分たちの町づくりとして真剣に取り組んでほしい。

・あさぎり町議会第一回定例会、一般質問を傍聴して感じたことは、各々の議員さんの新生あさぎり町発展のための熱意ある発言であります。人吉新聞には、

議会終了後に報道はされませんが、熱意の程が伝わります。今回傍聴して議会の生々しさを感じました。

・音響、時間は特に問題ないように思います。初日には座席が若干足りないようでした。

・議会への要望ですが、小さいことと思いますが、傍聴者の用駐車場を指定・配慮していただけたらよろしいかと思

町民の

声

新町政に望む

岡原北921

中村 律子



新しい「あさぎり町」。限らない可能性を秘め、町民の大きな期待と多種の思惑の中、漸く、動き出しました。

内容の種類を問わず合併事業は、誕生した新事業がスムーズに軌道にのる迄に、合併数プラスαの年限を要すると聞きます。急がず慌てず、旧各町村の要望や願望を十分に把握して、地域間格差の無い施政となる様、執行部への徹底した

目配りと、適正な指導、前向きな意見を呈して欲しいと思います。町民に対しては「何か有れば俺に言うてけー」ではなく、普段に自らが声掛けをして頂きたい。

「あつ、こらあ俺協力しとらんたい。」とか言わず、思わず（次回を考え）、目と耳と頭を常に「議員」にしたい。新町誕生に伴う町議の改選が1年先送りになった事は、結果として、今、とても良かったと、私個人として思います。

新町に対するいろんな意見、要望が限り無く出される事でしょう。どれをも大切に審議して欲しい。

「合併して良かこた、いっちょん無かー」という声を耳にするように成りました。

「あさぎり」の中に曲者や魔物を育てぬ様頑張りをお願い致します。祈健康。

## 議会のうごき

【平成15年4月11日（金）】

球磨郡町村議会議長会定例会

【平成15年5月15日（木）】

球磨郡町村議会議長会定例会

【平成15年5月26日（月）】

中球磨・上球磨町村議会議長会

【平成15年6月5日（木）】

町村議会議長研修会

【平成15年5月26日（月）】

人吉球磨広域行政組合議会第3回臨時会

【平成15年5月30日（金）】

第3回 球磨郡公立多良木病院組合議会臨時会

【平成15年6月9日（月）】

第1回 上球磨消防組合議会臨時会

【平成15年5月28日（水）】

第2回 川辺川土地改良事業組合議会臨時会

暑中お見舞い  
申上げます

平成15年盛夏

あさぎり町議会



## 広報調査

### 特別委員会

（写真右より）

恒松 博光 議員

森山 建一 議員

橋本 正照 議員

恒松 健男 議員

浦本 秀正 議員  
（委員長）

池田 是男 議員

宮原 盛幸 議員  
（副委員長）

岩村 勇次 議員



## 編集後記

初夏の暑い日が毎日つづいている今日この頃です。

あさぎり町が誕生して早くも4ヶ月が過ぎました。

あさぎり町議会第一回定例会が有り「議会だより」を新たに発行するため私たち8名の広報調査特別委員が一生懸命がんばり作成に取り組んできましたが、まだまだ素人で未熟であります。

町民の皆様親しく、わかりやすく愛読頂ける広報誌「あさぎり議会だより」になりますよう精一杯努力を重ねてまいります。

町民の皆様からのあたたかいご意見やご要望等をお寄せくださいませ。

また、今回の議会傍聴に多くの方々がお越しいただきありがとうございました。

次回の議会にも御越し下さいます。お待ちしております。

（健男）

